

TCM YDR-F195 フォーク・リフト

仕様書

1. 自動車の車台番号の打刻届出書(写)
2. 原動機の型式の打刻届出書(写)
3. 構造装置の概要説明書
4. 諸元表
5. 外観図
6. 指定装置等一覧表

29国自審第1230号

新型自動車第09549号

平成29年 10月20日

三菱ロジスネクスト株式会社

自動車の車台番号の打刻届出書
原動機の型式

国土交通大臣 殿

届出者の氏名 三菱ロジスネクスト株式会社

又は名称 代表取締役 御子神 隆

住 所 京都府長岡京市東神足二丁目1番1号

平成30年 3月24日

車名及び型式 TCM YDR-F195

車台の名称及び型式
原動機 TCM F195

打 刻 様 式

訂正様式

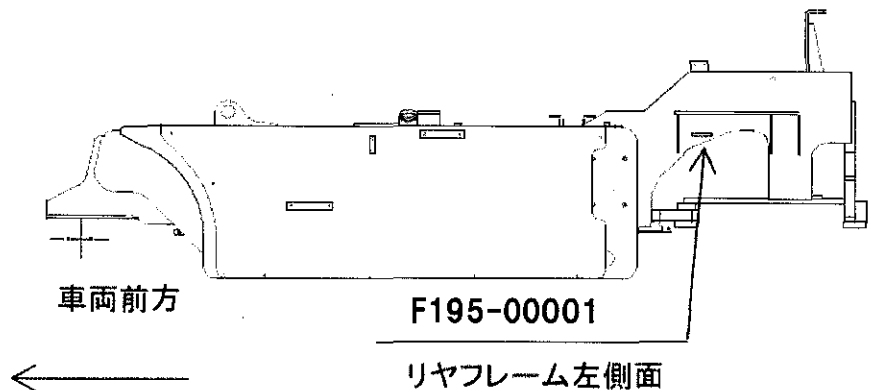
F195-00001 (不連続) ◇1
型式 番号 F195-0000X
 (連続2文字以上) ◇12◇
 F195-000XX

打 刻 字 体

0123456789F-

訂正 0123456789F-X0

打 刻 位 置 説 明 図



打 刻 を 行 う 事 業 場
 の 名 称 及 び 所 在 地

三菱ロジスネクスト株式会社 滋賀工場
 滋賀県近江八幡市長光寺町578番地

備 考


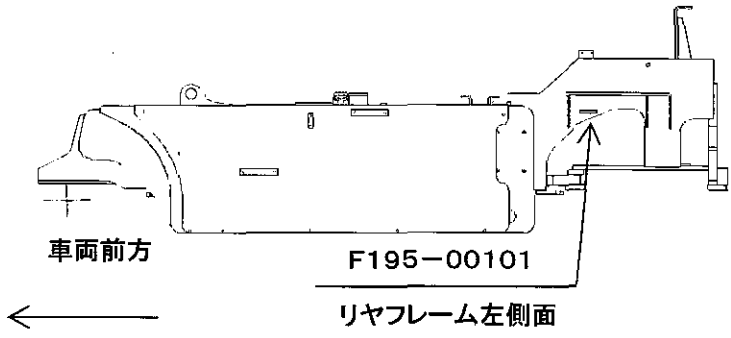
打刻字体を変更する。
 変更開始番号 (打刻開始番号) : 00200~

自動車の車台番号の打刻届出書

国土交通大臣 殿

届出者の氏名 ユニキャリア株式会社
 又は名称 代表取締役 ニノ宮 秀明
 住 所 神奈川県川崎市幸区新小倉1番2号

平成29年6月1日



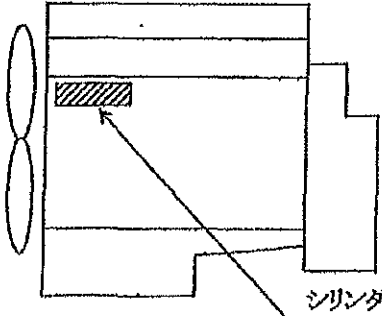
車名及び型式	TCM YDR-F195
車台の名称及び型式	TCM F195
打刻様式	$\frac{F195}{\text{型式}} - \frac{00101}{\text{番号}}$ <p>訂正様式 F195 - 0010X[Ⓣ]₁</p>
打刻字体	<p>http://www.keryou.net/</p> 
	<p>訂正用打刻字体</p> <p>0123456789 F - X Ⓣ</p>
打刻位置説明図	
打刻を行う事業場の名称及び所在地	ユニキャリア株式会社 滋賀工場 滋賀県近江八幡市長光寺町578番地
備考	

自動車~~の~~ 車台番号
の打刻届出書
原動機の型式

国土交通大臣 殿

届出者の氏名又は名称 AB Volvo Penta
Executive Vice President Mark Khoo
住 所 SE-405 08 Gothenburg, Sweden

平成 26 年 3 月 18 日

車名及び型式	
車台 の名称及び型式 原動機	Volvo Penta TAD5
打 刻 様 式	7005 訂正様式 700型 +5 70 製造工場 (フランス) 05 TAD5 (5リットルディーゼルエンジン)
打 刻 字 体	 訂正 
打刻位置説明図	 シリンダブロック 左側面
打刻を行う事業場の名称 及び所在地	Volvo Powertrain Lyon TER B 50005, 99 route de Lyon, 69806 Saint-Priest Cedex, France
備 考	



構造・装置の概要説明書

(TCM YDR-F195 フォークリフト)

(1) 主要な構造・装置の説明書

1. 基本概要説明

本車両は、「ユニキャリア UDS-F173」フォークリフト（26国自審第873号）を基本として、平成26年排出ガス規制に適合させた新型自動車である。

なお、主な変更内容は次のとおりである。

- 1) 原動機を、いすゞ6HK1型ディーゼルエンジン（総排気量 7.790 L、最高出力 161 kW / 1800 rpm、最大トルク 940 N・m / 1500 rpm、DPF付）から、Volvo Penta TAD5ディーゼルエンジン（総排気量 5.131 L、最高出力 129 kW / 2300 rpm、最大トルク 810 N・m / 1200 rpm、SCR付）に換装した。
- 2) 原動機の換装によりトルクコンバータ（特性）、変速機（ギヤ比）、推進軸（全長）、車わく、燃料装置（配管経路）、吸排気装置が変更になる。
- 3) 前方視認性を改善する為、運転者席の位置を上方へ移動、メータパネルの位置を前方へ変更した。
- 4) 保安基準第29条 窓ガラスの新基準（平成29年7月適用）に対応した窓ガラスに変更した。

2. 車両型式等

申請区分：新型届出

車名及び型式	原動機の型式	総排気量 (L)	燃料の種類	種別	通称名	用途	形状	排出ガス規制年
TCM YDR-F195	Volvo Penta TAD5	5.131	軽油	大型特殊	FD135-6 FD150S-6 FDi60S-6	—	フォークリフト	平成 26年

3. 類別説明

本車両には、次の類別を設定している。

類別	仕様の主な特徴
0001	11.00-20-18PR(I) フォークシフト、サイドシフト付

4. 主要構造・装置説明

本車両の主要構造・装置は次の通りである。

1) 原動機

原動機はVolvo Penta TAD5ディーゼルエンジンで、走行用及び荷役作業用の動力源である。

	Volvo Penta TAD5
燃料	軽油
総排気量 (リットル)	5.131
最高出力 (kW/rpm)	129/2300 (N)
最大トルク (N・m/rpm)	810/1200 (N)
定格出力 (kW/rpm)	129.0/2300 (N)

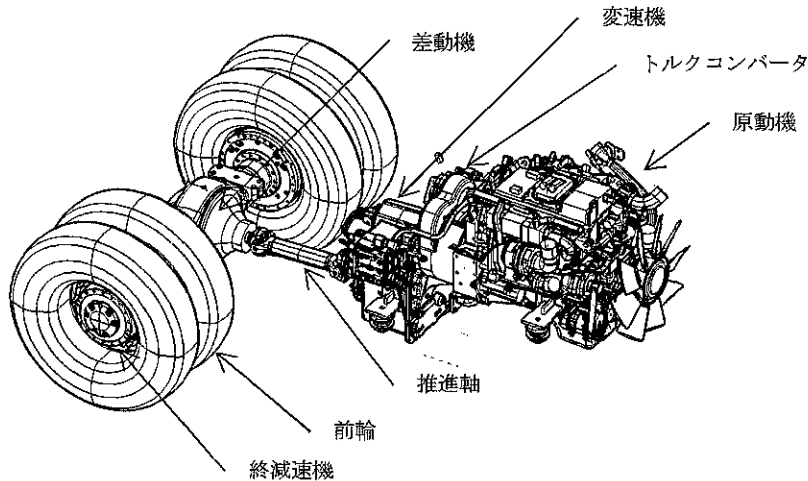
2) 動力伝達装置

動力伝達は、トルクコンバータ式であり、原動機の動力は次の経路をたどり前輪を駆動する。

原動機 → トルクコンバータ (3要素1段2相形) → 変速機 (常時啮合湿式多板クラッチ内蔵)
→ 推進軸 → 差動機 → 終減速機 (遊星歯車式) → 前輪

また、変速機は自動前後進3段で、駆動方法は前輪駆動である。

動力伝達装置の概略図を以下に示す。



<http://www.keiyou.net/>

3) 走行装置

走行装置は前車軸が全浮動軸管式でフレームに固定され、後車軸はエリオット形センタピン支持で2枚板構造としている。

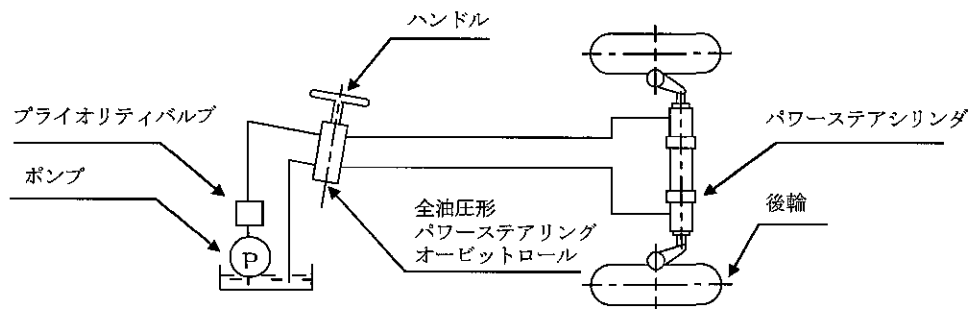
また、使用タイヤ及びブリムは次のものを設定している。

類別	前輪		後輪	
	タイヤサイズ	リムサイズ	タイヤサイズ	リムサイズ
0001	11.00-20-18PR (I)	20.0 × 8.00V	11.00-20-18PR (I)	20.0 × 8.00V

4) かじ取装置

かじ取装置は全油圧形パワーステアリング式を採用しており、パワーステアシリンダの伸縮作用で作動する後輪かじ取方式である。

かじ取装置の概略図を次に示す。



5) 制動装置

主制動装置は、湿式ディスクブレーキで前輪制動である。

また、駐車制動装置は機械式変速機出力軸制動皿ばね式湿式ディスクブレーキで変速機に内蔵し、推進軸側を制動する前輪制動である。

6) 車わく

車わくは鋼板溶接組立式で、左側に燃料タンクを、右側に作動油タンクをそれぞれ車わくと一体構造として構成している。

7) 作業装置

作業装置は、マスト（リフトシリンダ、リフトブラケット）及びアタッチメント

（フォークシフト&サイドシフト、フォーク等）で構成され、

リフトシリンダの伸縮作用によりチェーンを介してアタッチメント

（フォークシフト&サイドシフト、フォーク等）を上下させる構造である。

8) その他の装置（パワー/エコノミースイッチ）

作業負荷状態に応じた使い分けが出来るよう、パワー/エコノミースイッチを採用した。

通常は、標準の原動機出力仕様であるが、メータパネル上に設けたエコノミースイッチを押すと原動機の定格回転数が抑えられ、燃費向上に適する。

エコノミーモード時のエンジン定格回転数は次の通りである。

	パワー (通常)	エコ
エンジン定格回転数 (rpm)	2300	2000

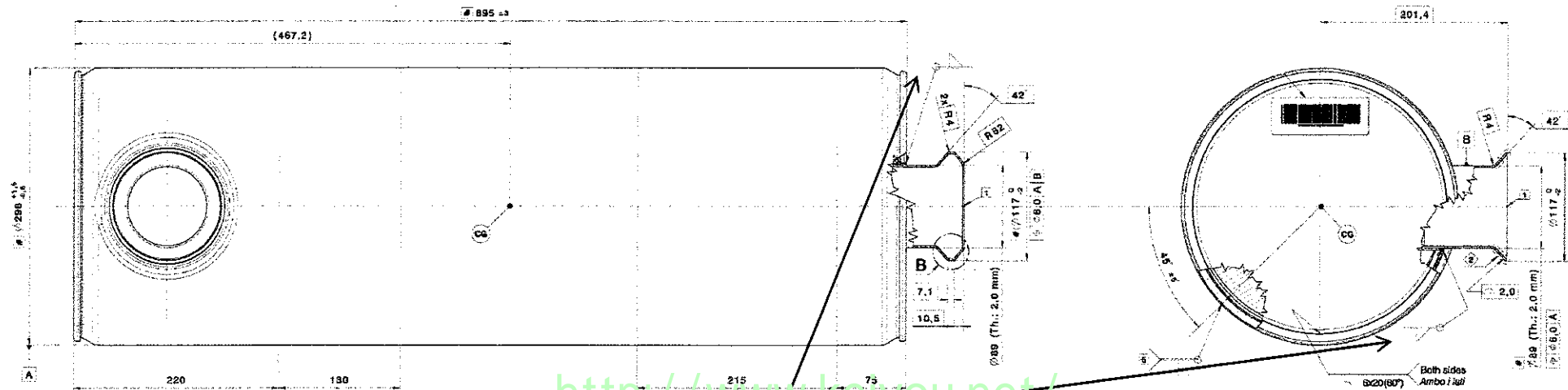
5. その他

1) 要基準緩和項目

本車両には、次の基準緩和項目があり、アタッチメント等の種類による重量変化に伴い要基準緩和項目の数値が変化します。

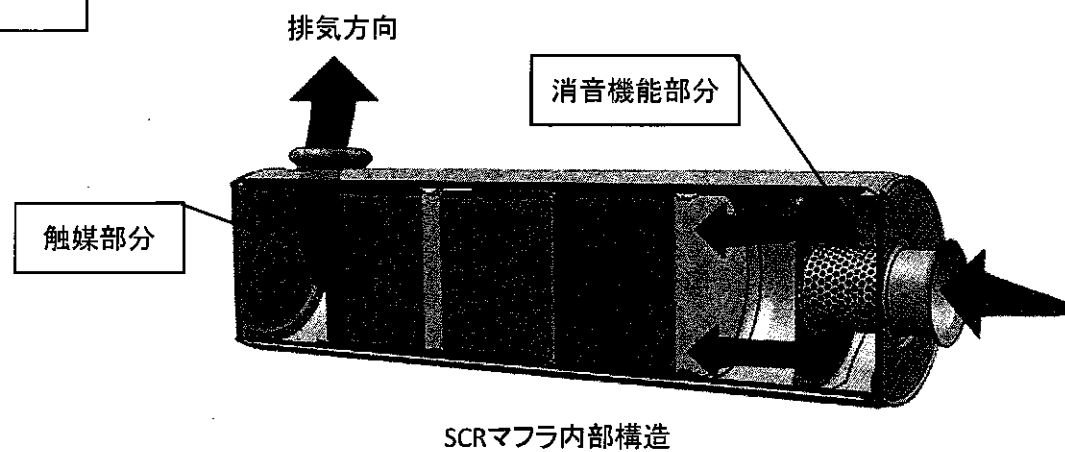
- (a) 第4条の2 第1項 軸重（前） 10,001kg～11,250 kg
- (b) 第4条の2 第1項 軸重（後） 10,001kg～10,190 kg
- (c) 第4条の2 第3項 輪荷重（後） 5,001kg～5,095 kg
- (d) 第7条 細目告示第9条 第1項第3号 接地圧（後輪） 200.1kg/cm ～ 231.5kg/cm

(2) 騒音防止対策説明書



<http://www.keiryu.net/>

消音機能部品は
溶接処理しており、
取外しできない
構造です。



(3) TAD57xVE 型エンジン 排出ガス対策内容説明書

本原動機は、平成 26 年排出ガス規制に適合した大型特殊自動車搭載用ディーゼルエンジンである。原動機の主要諸元及び排出ガス対策内容を以下に示す。

1. 主要諸元

装置型式名	TAD57xVE
総排気量 L	5. 131
原動機の種類	4サイクル ディーゼル ターボインタークーラ付
シリンダ数及び配置	直4縦置
燃焼室形式	直接噴射式
内径×行程 mm	110. 0 × 135. 0
圧縮比	17. 5
最高出力 kW/min ⁻¹	メンバエンジン表参照
最大トルク N・m/min ⁻¹	メンバエンジン表参照
定格出力 kW/min ⁻¹	メンバエンジン表参照

2. 排出ガス対策内容

<http://www.keiyou.net/>

No	対 策 内 容	
1	電子制御と各種センサの採用	エンジンの運転状況をセンサで常時監視し、燃料噴射量、噴射時期及び噴射圧力を最適に制御する。
2	コモンレール式噴射装置の採用	超高圧噴射により燃料噴射を最適化する。
3	ターボ・インタークーラの採用	高過給化にて黒煙・PMを低減する。
4	水冷式 EGR の採用	EGR Valve の電子制御により、エンジンの運転状況に応じて EGR 量を最適に制御する。
5	尿素選択還元触媒(SCR)の採用	マップによるフィードフォワード制御と、触媒前後に設けた 2 個の NOx センサによるフィードバック制御により尿素水噴射量を最適化する。

(4)諸元変化の説明

フォークリフトは、その使用目的からマストの高さ、フォークの長さ、アタッチメントの種類がきわめて多く、これによって表1のように諸元が変化します。

表1. 諸元変化の範囲

(46自車第264号による)

YDR-F195

項 目		類 別 番 号		備 考
		0001		
長 さ	m	5.770	~ 7.395	フォーク長さ、アタッチメントの種類、カウンタウエイト等、種類の変化による。
幅	m	2.360	~ 2.430	アタッチメント等、種類の変化による。
高 さ	m	3.000	~ 3.780	マスト高さ等、種類の変化による。
車両重量	kg	前 軸	7,290 ~ 11,220	フォーク、マスト、アタッチメント、カウンタウエイト等、種類の変化による。
		後 軸	8,710 ~ 10,165	
		合 計	16,475 ~ 19,940	
車両総重量	kg	前 軸	7,320 ~ 11,250	
		後 軸	8,735 ~ 10,190	
		合 計	16,530 ~ 19,995	
ボディ・オーバーハング	m	前 端	1.980 ~ 3.480	フォーク長さ、アタッチメント等、種類の変化による。
		後 端	0.760 ~ 0.815	カウンタウエイト等、種類の変化による。
重 心 高 さ	m	1.000	~ 1.105	フォーク、マスト、アタッチメント、カウンタウエイト等、種類の変化による。

注) 本諸元変化の範囲には、製作誤差を含めておりません。

諸元表

新型自動車番号	—
新型届出年月日	—
変更届出年月日	—
車名及び型式	TCM YDR-F195
車台の名称及び型式	TCM F195
車体の名称	—
製作者等の氏名又は名称	ユニキャリア株式会社
自動車の種別	大型特殊
燃料の種類	軽油
原動機の型式	Volvo Penta TAD5
総排気量(L)又は定格出力(kW)	5.131 (L)
車台番号の打刻様式	F195-00101
車台番号の打刻位置	リヤフレーム左側面
原動機の型式の打刻様式	7005
原動機の型式の打刻位置	シリンダブロック 左側面

類 別	0001	
仕 様	11.00-20-18PR (1) フォークシフト、 サイドシフト付	
通 称 名	FD135-6、FD150S-6 FD160S-6	
用 途	—	
車 体 の 形 状	フォーク・リフト	
車 体 の 型 式	—	
長 さ (m)	7.395	
幅 (m)	2.430	
高 さ (m)	3.780	
軸 距 (m)	3.100	
荷 台 の内側 寸法(m)	長 さ	—
	幅	—
	高 さ	—
荷台オフセット(m)	—	
車 両 (kg) 重 量	前 軸 重	10,510
	後 軸 重	9,430
	計	19,940
乗 車 定 員 (人)	1	
最 大 積 載 量 (kg)	—	
車 両 (kg) 総 重 量	前 軸 重	10,540
	後 軸 重	9,455
	計	19,995
最 大 安 定 傾 斜 角 度	左	41(計算値)
	右	41(計算値)
車 輪 配 列	4D-2	
旅客運送事業用適否 (詳細説明)	—	
最 高 出 力 (kW/rpm)	129/2,300 (ISO)	
最 大 ト ル ク (N・m/rpm)	810/1,200 (ISO)	
騒 音	規制区分	—
	近接(dB/rpm)	83/1,725
	定常(dB(km/h))	78(9)
	加速(dB)	—
排 出 ガ ス 重 量	試験モード	D8及びNRTCモード*
	CO (g/kWh)	5.0
	HC (g/kWh)	—
	NMHC (g/kWh)	0.19
	NOx (g/kWh)	0.4
	PM (g/kWh)	0.02
	試験モード	11 モード
	CO (g/テスト)	—
	HC (g/テスト)	—
	NOx (g/テスト)	—
燃料消費率 (km/L)	WLTC	—
	JC08	—

第3号様式（諸元表）（用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。）

重心高	
重心高 (m)	1.105
シャシ重量 (kg)	
原動機 (内燃機関)	
取付位置	後
種類	ディーゼル・4サイクル
気筒配列、気筒数及び配置	直4 縦置
内径×行程 (mm)	110.0 × 135.0
原動機 (電動機)	
原動機 (電動機) 用制御装置	
原動機 (電動機) 用電源装置	
燃料装置	
燃料タンク：材質	鋼
燃料タンク：容量 (L)	260
燃料タンク：位置	フレーム中央左側
気化器：型式	—
気化器：空気弁：形式	—
燃料噴射装置：形式	電子式 (コモンレール式)
高圧ガス装置：充填口：形式	—
高圧ガス装置：過充填防止装置：形式	—
高圧ガス装置：安全弁：形式	—
高圧ガス装置：主止弁：形式	—
高圧ガス装置：減圧装置：形式	—
電気装置	
点火装置：断続器：形式	—
動力伝達装置	
クラッチ：倍力装置：形式	—
変速機：形式	常時噛合式
変速機：操作方式	ハンドル・チェンジ式 (パワーシフト付)
変速機：変速比：一速	2.686
変速機：変速比：二速	1.206
変速機：変速比：三速	0.492
変速機：変速比：四速	—
変速機：変速比：五速	—
変速機：変速比：六速	—
変速機：変速比：七速	—
変速機：変速比：後退	(一) 2.736 (二) 1.229 (三) 0.502
副変速機：形式	—
副変速機：操作方式	—
副変速機：変速比：高	—
副変速機：変速比：低	—
推進軸：長さ・外径・内径 (mm)：第一	538×90.0×83.6
推進軸：長さ・外径・内径 (mm)：第二	—
推進軸：長さ・外径・内径 (mm)：第三	—
減速機：第一：歯車：形式	スパイラルかさ歯車
減速機：第一：減速比	6.333
減速機：第二：歯車：形式	遊星歯車式
減速機：第二：減速比	3.529
差動機：歯車形式及び数	すぐばかさ歯車 大2・小4
差動機：差動制限装置：形式	—
分配機：形式	—
分配機：減速比	—
変向機：形式	—
変向機：減速比	—
走行装置	
前車軸：形式	全浮動軸管式
後車軸：形式	エリオット形
輪距：前輪 (m)	1.695
輪距：後輪 (m)	1.795
タイヤの呼び：前輪	11.00-20-18PR(1)
タイヤの呼び：後輪	11.00-20-18PR(1)
タイヤの空気圧 (kPa)：前輪	850
タイヤの空気圧 (kPa)：後輪	850
許容限度：前軸 (kg)	—
許容限度：後軸 (kg)	—

許容限度：車両総重量 (kg)	—
かじ取装置	
ハンドル：位置	左
ハンドル：軸及び継手形式	調整式
かじ取角度：内側	75°
かじ取角度：外側	52°
盗難防止装置	
制動装置：主ブレーキ	
形式	油圧式、前湿式ディスクブレーキ
作動系統及び制動車輪	1-前4輪制動
ライニング又はパッド：材質	樹脂系ペーパー
ライニング又はパッド：寸法 (mm)：前輪	外径384.0、内径302.0、厚さ1.0
ライニング又はパッド：寸法 (mm)：後輪	—
ライニング又はパッド：面積 (cm ²)：前輪	441×5枚×2輪
ライニング又はパッド：面積 (cm ²)：後輪	—
ブレーキの胴径又はディスク有効径 (mm)：前輪	343
ブレーキの胴径又はディスク有効径 (mm)：後輪	—
マスターシリンダ又はブレーキ弁：形式	シングル形
マスターシリンダ内径 (mm)	—
サブライ・タンク：形式	—
ホイールシリンダの内径又はブレーキ室膜板径 (mm)：前輪	外径384.0、内径304.0
ホイールシリンダの内径又はブレーキ室膜板径 (mm)：後輪	—
制動倍力装置：形式	—
制動倍力装置：倍率	—
空気圧縮機等：真空又は空気圧 (MPa)	—
空気圧縮機等：真空ポンプ又は空気圧縮機：形式	—
空気圧縮機等：圧力調整器：形式	—
空気圧縮機等：タンク：位置	—
空気圧縮機等：タンク：容量 (L)	—
制動力制御装置：形式	—
制動警報装置：形式及び性能：検出部	液面レベル式 差圧式 9.81MPa
制動警報装置：形式及び性能：表示部	音響式 90dB、灯火式 0.18W
安全装置：形式	—
制動装置：駐車ブレーキ	
形式	機械式変速機出力軸制動皿ばね式 湿式ディスクブレーキ
制動車輪	前4輪
ライニング又はパッド：材質	樹脂系ペーパー
ライニング又はパッド：寸法 (mm)	外径160.0、内径113.0、厚さ3.3
ライニング又はパッド：面積 (cm ²)	100×2面×7面
ブレーキの胴径又はディスク有効径 (mm)	136
制動装置：補助ブレーキ	—
制動装置：非常ブレーキ	—
制動装置：分離ブレーキ	—
緩衝装置	
前輪：懸架方式	フレーム固定式
前輪：ばね：形式	—
前輪：主ばね：寸法 (mm)	—
前輪：補助ばね：寸法 (mm)	—
後輪：懸架方式	センタピン式
後輪：ばね：形式	—
後輪：主ばね：寸法 (mm)	—
後輪：補助ばね：寸法 (mm)	—
車わく	
形式	一体構造
断面形状	—
寸法 (mm)	—
上部構造支持台	
車体	
連結装置	
乗車装置	
座席：形式	セパレート式
座席ベルト取付装置等：形式	—
座席ベルト取付装置等：数	—
座席ベルト：形式	—
座席ベルト：数	—

頭部後傾抑止装置：形式	—
頭部後傾抑止装置：数	—
エアバッグ：容量 (L) 及びインフレーター出力 (kPa)	—
乗降扉：形式	開戸2 かんぬき式
ガラス	
前面ガラス：種類	強化ガラス
前面ガラス以外のガラス：種類	扉、側面—強化ガラス 上面—合わせガラス 後面—強化ガラス (指定装置等)
騒音防止装置	
消音器：型式	DK-22394370
消音器：個数	1
排出ガス発散防止装置	
ブローバイ・ガス還元装置：形式	クローズド式
燃料蒸発ガス抑止装置：形式	—
触媒：種類及び形式	尿素選択還元式(SCR) (モノリス) +酸化触媒(ASC) (モノリス)
触媒：個数、容量 (L) 及び主要成分	2(SCR)、10.44+6.26、バナジウム 1(ASC)、4.20、鉄、白金
その他の装置：形式	排気ガス再循環装置
排気管開口部：位置及び向き	車体後部右側 右25°
警報装置：表示部：形式	—
警報装置：検出部：形式	—
警報装置：検出部：個数	—
警報装置：検出部：取付位置	—
灯火装置	
前照灯：型式	BL11-184
前照灯：個数、色及び性能	走行用：2、白色、75W すれ違い用：2、白色、70W
前部霧灯：型式	—
前部霧灯：個数、色及び性能	—
側方照射灯：型式	—
側方照射灯：性能	—
車幅灯：型式	BL24-104
車幅灯：個数、色及び性能	2、橙色、5W、27cm ²
昼間走行灯：型式	—
昼間走行灯：性能	—
側方灯：前部：型式	—
側方灯：前部：個数及び性能	—
側方灯：後部：型式	—
側方灯：後部：個数、色及び性能	—
側方灯：中央部：型式	—
側方灯：中央部：個数及び性能	—
番号灯：型式	L1147
番号灯：個数及び性能	1、12W
尾灯：型式	BL46-132 指定装置等
尾灯：個数及び性能	2、5W、93cm ² 制動灯と兼用
後部霧灯：型式	—
後部霧灯：個数及び性能	—
駐車灯：前面：型式	—
駐車灯：前面：個数、色及び性能	—
駐車灯：後面：型式	—
駐車灯：後面：個数及び性能	—
制動灯：型式	BL46-132 指定装置等
制動灯：個数及び性能	2、21W、93cm ² 尾灯と兼用
補助制動灯：型式	—
補助制動灯：個数及び性能	—
後退灯：型式	BL43-103
後退灯：個数及び性能	1、25W、40cm ²
方向指示器：フラッシャ：形式	I C式 パイロットランプ式

方向指示器：前面：型式	BL24-104
方向指示器：前面：個数及び性能	2、25W、44cm ² 、85回/分
方向指示器：後面：型式	BL46-132 指定装置等
方向指示器：後面：個数及び性能	2、21W、42cm ² 、85回/分
方向指示器：側面：前部：型式	BL24-104
方向指示器：側面：前部：個数及び性能	2、25W、85回/分 側面 0cm ² 前 45° 0cm ² 後 45° 9cm ²
方向指示器：側面：中央部：型式	—
方向指示器：側面：中央部：個数及び性能	—
方向指示器：補助：型式	—
方向指示器：補助：性能	—
非常点滅表示灯：前面：型式	—
非常点滅表示灯：前面：個数及び性能	—
非常点滅表示灯：後面：型式	—
非常点滅表示灯：後面：個数及び性能	—
非常点滅表示灯：側面：型式	—
非常点滅表示灯：側面：個数及び性能	—
反射器：前面：型式	—
反射器：前面：性能	—
反射器：後面：型式	SAE A89 DOT 指定装置等
反射器：後面：個数及び性能	2、21cm ²
反射器：側面：前部：型式	—
反射器：側面：前部：個数及び性能	—
反射器：側面：後部：型式	—
反射器：側面：後部：個数、色及び性能	—
反射器：側面：中央部：型式	—
反射器：側面：中央部：個数及び性能	—
警光灯：型式	—
警光灯：個数及び性能	—
黄色点滅灯：型式	—
黄色点滅灯：個数及び性能	—
警報装置	
警報音発生装置：型式及び形式	002 952、006 958 平型 電気式 指定装置等
警音器：個数及び性能	2、101dB 指定装置等
視野確保装置	
後写鏡：左：形式	固定式
後写鏡：左：寸法及び曲率半径 (mm)	角形、290×216-600
後写鏡：右：形式	固定式
後写鏡：右：寸法及び曲率半径 (mm)	角形、290×216-600
後写鏡：室内：形式	—
後写鏡：室内：寸法及び曲率半径 (mm)	角形、222×122-600
直前確認鏡：形式	—
直前確認鏡：寸法及び曲率半径 (mm)	—
直左確認鏡：形式	—
直左確認鏡：寸法及び曲率半径 (mm)	—
窓ふき器：個数及び性能	1、最大60 最小40/分、7420cm ²
洗浄液噴射装置：個数及び性能	2、220mL/10秒(電気式)、2.0L
デフロスタ：形式	温水式
消火器	
内圧容器	
性能	
最高速度 (km/h)	33
最小回転半径 (m)	4.0
制動停止距離 (m) (初速 (km/h))	5.0 (20)
主ブレーキ：制動力 (N) (踏力 (N))	80670 (230) / 4.0m/s ² (計算値)
主ブレーキ：効きおくれ時間 (秒)	—
駐車ブレーキ：制動力 (N) (操作力 (N))	39080 (7) / 2.0m/s ² (計算値)
排出ガス濃度:8モード:黒煙 (%)	—
定地燃料消費率 (km/L)	—
重量車モード燃料消費率 (km/L又はkm/Nm ³)	—
市街地走行モード燃料消費率 (km/L又はkm/Nm ³)	—

都市間走行モード燃料消費率 (km/L又はkm/Nm ³)	—
一充電走行距離 (km)	—
交流電力量消費率 (W・h/km)	—
ハイブリット (CS) 燃料消費率 (km/L)	—
プラグイン (CD) 燃料消費率 (km/L)	—
プラグイン (CD) レンジ (km)	—
電力量消費率 (km/kWh)	—
等価EVレンジ (km)	—
一充電消費電力量 (kWh/回)	—
CNG自動車燃料消費率 (軽・中量車) (km/Nm ³)	—
その他	—

その他 (構造、装置に係る事項)

備考

1. 基準緩和項目			
(a) 第4条の2 第1項	軸重 (前)		10,001kg~11,250 kg
(b) 第4条の2 第1項	軸重 (後)		10,001kg~10,190 kg
(c) 第4条の2 第3項	輪荷重 (後)		5,001kg~5,095 kg
(d) 第7条 細目告示第9条 第1項第3号	接地圧 (後輪)		200.1kg/cm ~ 231.5kg/cm
2. 付加制限事項は別添資料参照のこと			

<http://www.keiyou.net/>

付加制限の別添

1、前軸重、後軸重、後輪荷重、接地圧

- 1) 自動車の後面及び運転者席には、上記の数値を表示すること。

<http://www.keiyou.net/>

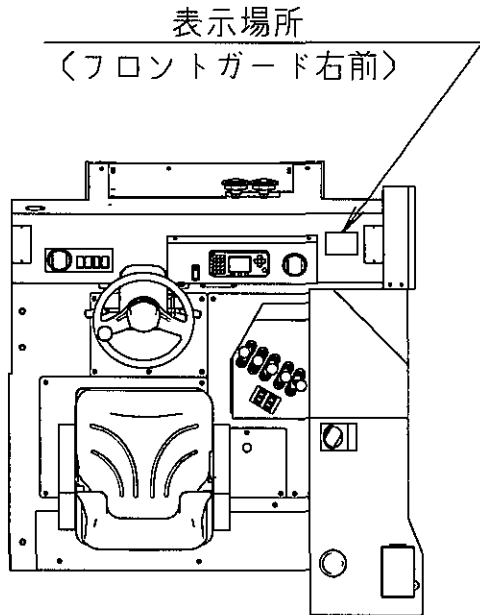
基準緩和の表示方法

1. 運転者席

(1) 表示場所

(2) 表示文字

表示文字は2項(2)と同じ。



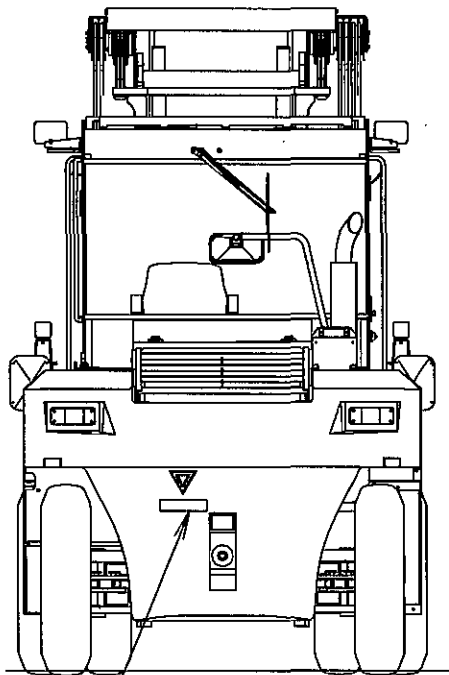
2. 車両後部

<http://www.keiyou.net/>

(1) 表示場所

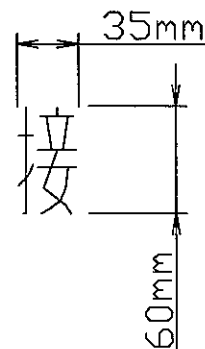
(2) 表示文字

前軸重 11.25 トン
後軸重 10.19 トン
後輪荷重 5.09 トン
接地圧 231.5 kg/cm



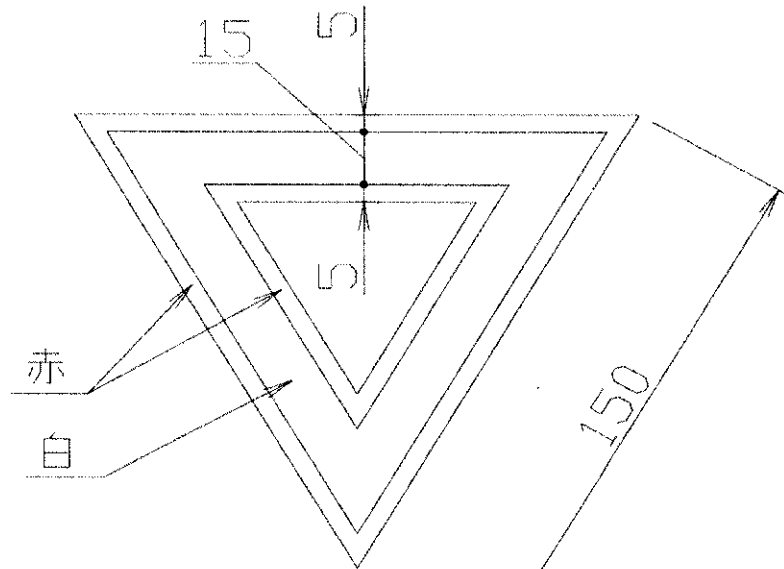
表示場所
(バランスウェイト後面)

(3) 文字の大きさ

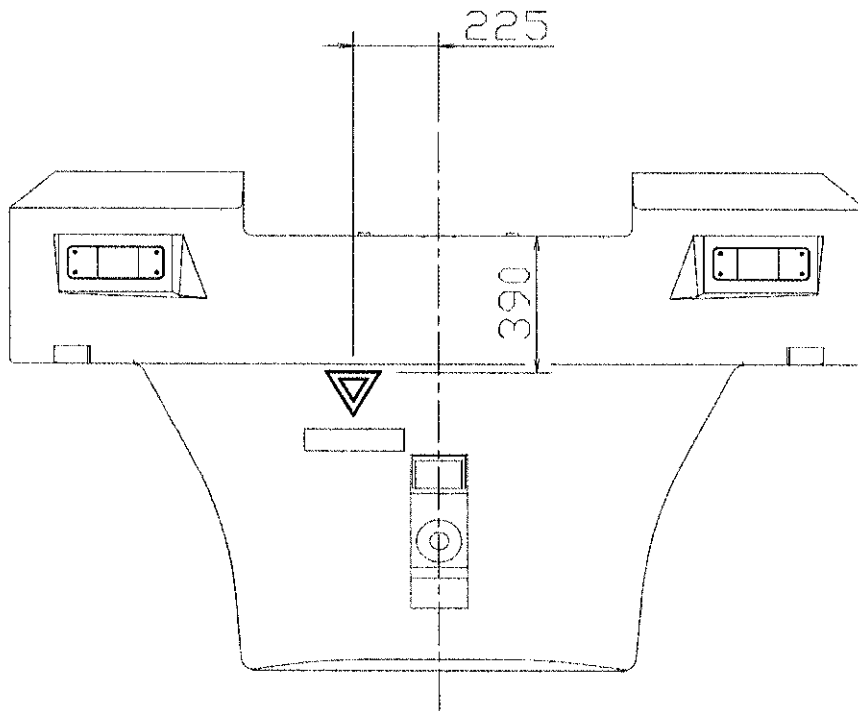


3、制限の表示

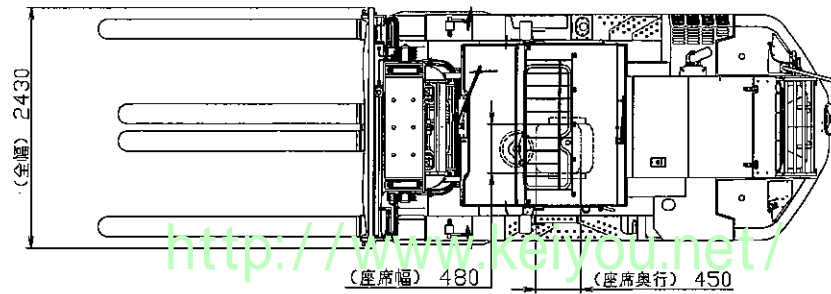
当該自動車は「道路運送車両の保安基準」第4条の2第1項（軸重）、第4条の2第3項（後輪荷重）、第7条（接地圧）に適合しないため基準緩和の際制限を受けたものについて「道路運送車両法施行規則」54条第1項の規定による表示を下図の通り表示します。



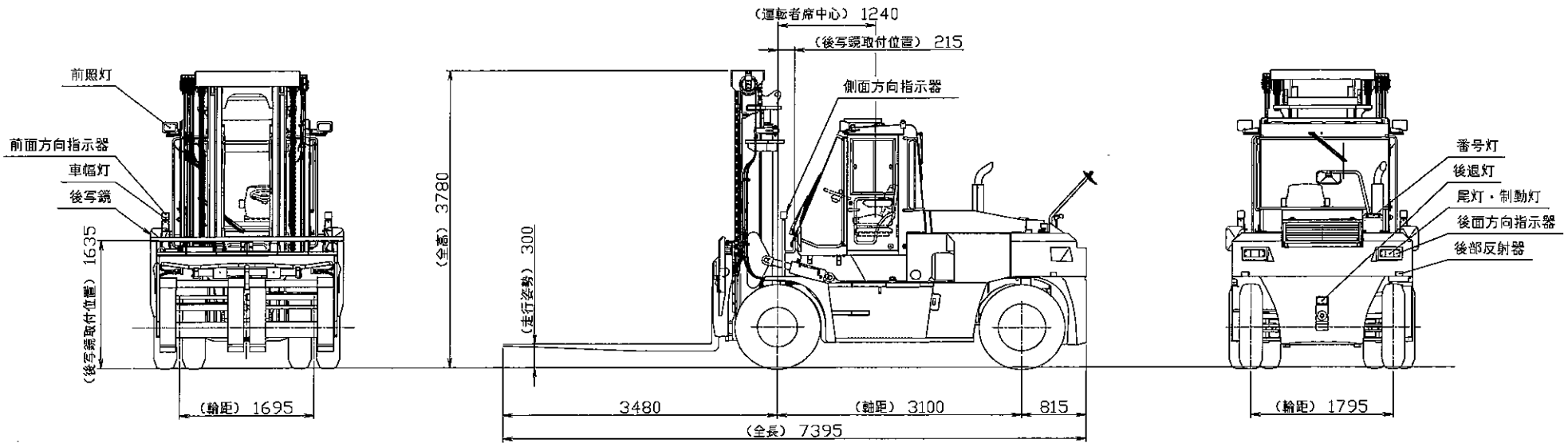
<http://www.keiyou.net/>



TCM YDR-F195 フォークリフト外観図



<http://www.keiyou.net/>



灯火器類取付一覧表

TCM YDR-F195

(単位：mm)

項目		類別	0001
すれ違い用 前照灯	取付高さ	上縁	3,105
		下縁	3,015
	車両最外側からの距離		165
後退灯	取付高さ	上縁	870
		下縁	820
車幅灯	取付高さ	上縁	1,930
		下縁	1,895
	車両最外側からの距離		145
尾灯	取付高さ	上縁	1,490
		下縁	1,400
	車両最外側からの距離		315
後部反射器	取付高さ	上縁	1,190
		下縁	1,160
	車両最外側からの距離		195
制動灯	取付高さ	上縁	1,490
		下縁	1,400
	車両最外側からの距離		315
方向指示器 (前面)	取付高さ	上縁	1,985
		下縁	1,930
	内縁間隔		1,965
	車両最外側からの距離		145
方向指示器 (側面・前部)	取付高さ	上縁	1,985
		下縁	1,895
	車両前端からの距離		3,515
方向指示器 (後面)	取付高さ	上縁	1,490
		下縁	1,400
	内縁間隔		1,810
	車両最外側からの距離		235

備考 1 取付けない灯火器類に係る項目及び取付位置に係る規定が適用されない項目については、記載項目から除くことができる。

指定装置等又は指定共通構造部一覧表

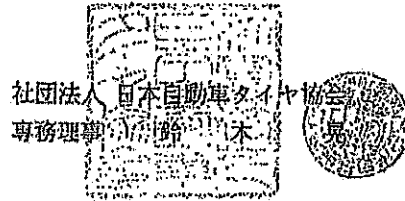
番号	装置又は 共通構造部の種類	指定番号（認定番号）等	備考
1	一酸化炭素等 発散防止装置	① GS-2089	
2	警報音発生装置	E1 20011	
3	後部反射器	E17 02338	
4	尾灯、制動灯	E13*07R00*07R02*1960*00	
5	方向指示器(後面)	E13*06R00*06R01*1960*00	
6	後面ガラス	E13*43R00*43R01*9585*01	

<http://www.keiyou.net/>

- 備考 (1) 法第75条の2第1項又は法第75条の3第1項の指定を法第75条第1項の申請等と同時にを行う場合については備考欄にその旨を記載すること。
- (2) 指定番号等の欄には、装置指定通知書等、共通構造部指定通知書等及び認定証に記載された番号等を記載すること。

外第 388 号
平成9年2月20日

東洋運搬機株式会社
技術部長 大吉 一成 殿



タイヤの諸元等の決定について

東洋運搬機株式会社より、平成9年1月6日付にてご依頼のありました標記の件に関し、
タイヤ規格委員会にて審議の結果、暫定的に当会規格として、下記数値を決定いたし
ますので、ご連絡申し上げます。

記

<http://www.keiyou.net/>
産業車両用ニューマティックタイヤ

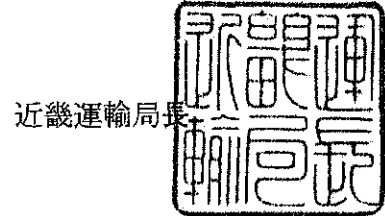
タイヤの呼び	空気圧 kgf/cm ²	荷重輪 40km/h	操舵輪			
			25km/h	30km/h	35km/h	40km/h
11.00-20-18PR(I)	8.5	6945	5555	5335	5135	4985

以上

基準緩和認定書(一括)

近運技技第 1010 号
平成 29 年 12 月 19 日

三菱ロジスネクスト 株式会社 殿



平成 29 年 12 月 4 日付けで申請があった下記の自動車については、道路運送車両の保安基準第 55 条の規定に基づき、基準緩和を認定する。

記

- 1 車名及び型式 TCM YDR-F195 (類別: 0001)
- 2 種別及び用途 大型特殊 -
- 3 車体の形状 フォーク・リフト
- 4 車台番号又は製造番号 F195-00001 以降
- 5 使用の本拠の位置 全国
- 6 基準緩和を認定する条項並びに条件及び制限
 - (1) 緩和条項等

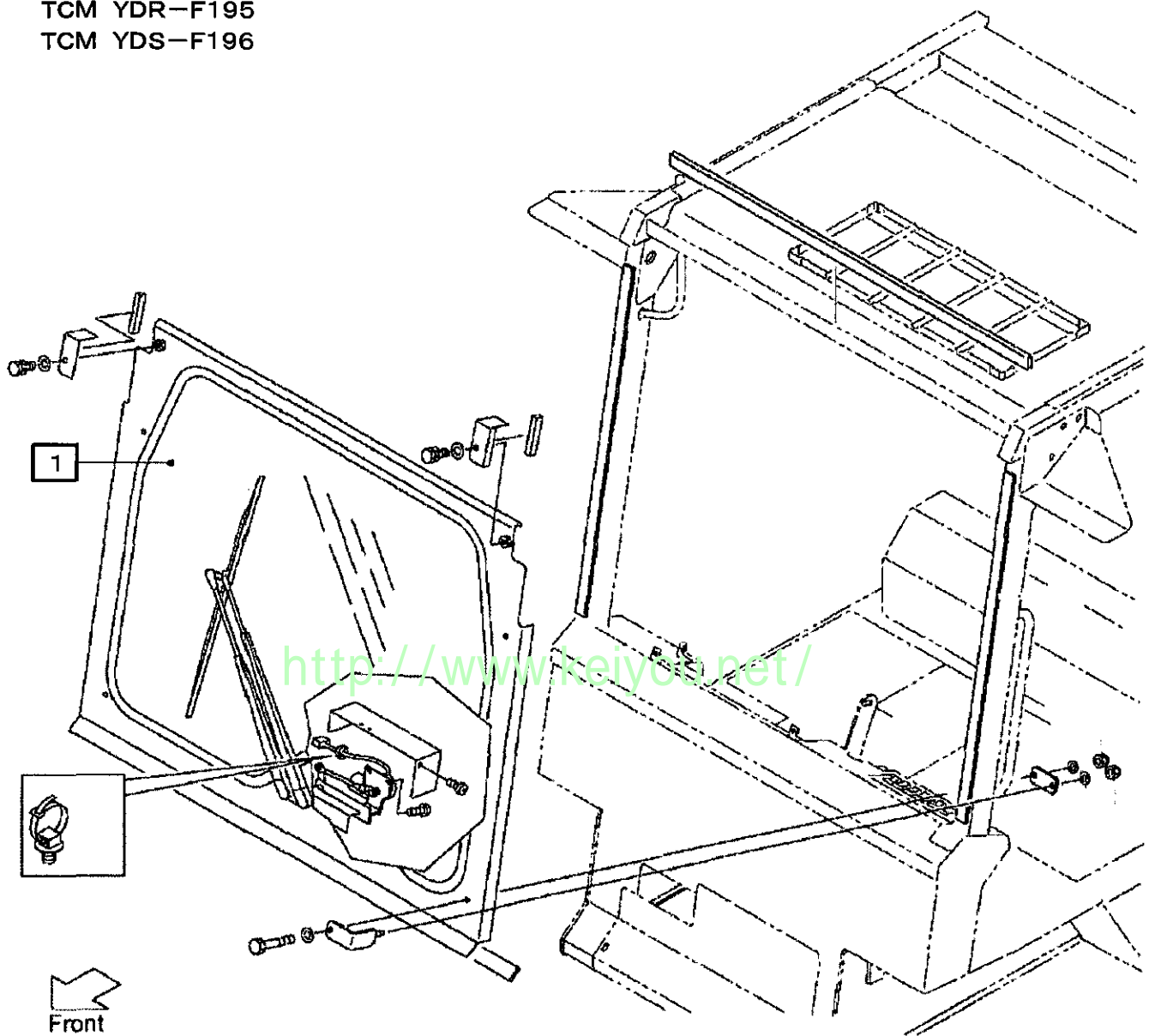
005 第4条の2	軸重等	備考欄参照
006 第4条の2	軸重等	(後) 5,001kg ~5,095kg
009 第9条	接地部及び接地圧(第1号を除く)	(後) 200.1kg /cm~231.5kg /cm
 - (2) 条件及び制限
 - 005 自動車の後面及び運転者席には、軸重を表示すること。
 - 006 自動車の後面及び運転者席には、輪荷重を表示すること。
 - 008 自動車の後面及び運転者席には、接地圧を表示すること。

※ 備考

※軸重 (前) 10,001kg~11,250kg
(後) 10,001kg~10,190kg

窓ガラス部位図 (前面ガラス仕様)

TCM YDR-F194
 TCM YDR-F195
 TCM YDS-F196



No.	部番	部位	仕様	生産工場	認証番号	仕様
1	58L35-42051	前面	強化、5mm	富士安全硝子工業(株)	E6*43R00/14*2232*28	標準